

EU Indicators

欧州経済指標コメント：2月ユーロ圏PMI（速報）

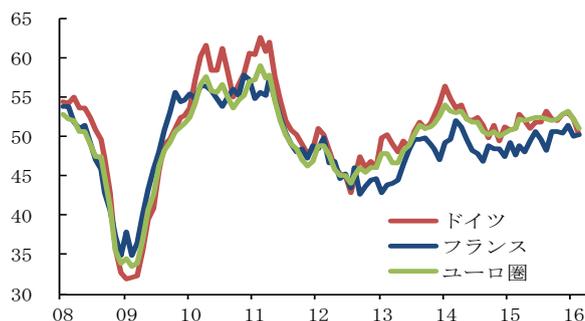
発表日：2016年2月22日（月）

～金融市場からの負の連鎖を断ち切れ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

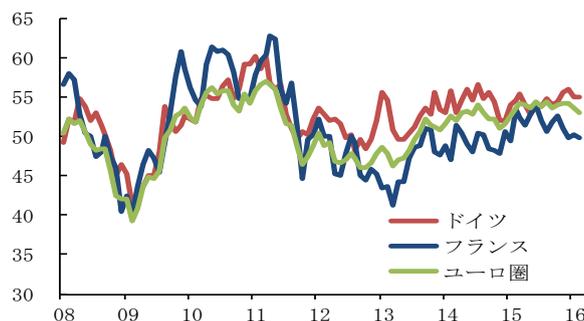
- 2月のユーロ圏の総合PMIの速報値は2ヶ月連続で低下し、昨年1月以来の水準に落ち込んだ。発表元のMarkitによれば、先行指標から判断して来月の指数は一段と落ち込む可能性があるとのこと。1-3月期のユーロ圏の実質GDP成長率は前期（前期比+0.3%）からペースダウンが避けられない。
- 国別/業種別の内訳は、ドイツでサービス業が好調を維持したものの、製造業の業況が急速に冷え込み、2014年11月以来の50割れ目前に低下した結果、総合PMIは7ヶ月振りの水準に改善モメンタムが鈍化。フランスは製造業とサービス業が何れも50前後にとどまり、総合PMIは13ヶ月振りの50割れを記録した。ここから逆算して、その他ユーロ圏は製造業とサービス業が揃って改善モメンタムが鈍化し、それぞれ昨年1月と2月以来の水準に低下した模様。
- 世界的な景気減速懸念が広がるなかで、ユーロ圏の景況感は底堅さを保ってきたが、製造業の改善モメンタムにはさすがに翳り。雇用情勢の改善、原油安による実質購買力改善、財政の下押し圧力緩和などを背景に、内需の好調が今のところ景気回復を支えている。ただ、20日に発表された2月のユーロ圏の消費者信頼感が一段と悪化（前月：▲6.3→今月：▲8.8）。内需の堅調も、このところの金融市場の動揺と製造業の景況悪化から無縁でいられないことが示唆。足許で金融市場の一方的な不安心理の増幅に歯止めが掛かっているが、市場の不安定化が続けば回復継続に黄信号が灯りかねない。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

	2015				2015					2016			
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ユーロ圏 総合産出指数	53.3	53.9	53.9	54.1	54.2	53.9	54.3	53.6	53.9	54.2	54.3	53.6	52.7
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	51.4	52.3	52.3	52.8	52.5	52.4	52.3	52.0	52.3	52.8	53.2	52.3	51.0
ユーロ圏 サービス業業況指数	53.6	54.1	54.0	54.2	54.4	54.0	54.4	53.7	54.1	54.2	54.2	53.6	53.0
ドイツ 総合産出指数	54.2	53.5	54.2	54.9	53.7	53.7	55.0	54.1	54.2	55.2	55.5	54.5	53.8
ドイツ 製造業購買担当者指数	51.6	51.7	52.5	52.7	51.9	51.8	53.3	52.3	52.1	52.9	53.2	52.3	50.2
ドイツ サービス業業況指数	54.7	53.6	54.3	55.4	53.8	53.8	54.9	54.1	54.5	55.6	56.0	55.0	55.1
フランス 総合産出指数	51.0	52.0	51.2	51.2	53.3	51.5	50.2	51.9	52.6	51.0	50.1	50.2	49.8
フランス 製造業購買担当者指数	48.5	49.4	49.5	50.9	50.7	49.6	48.3	50.6	50.6	50.6	51.4	50.0	50.3
フランス サービス業業況指数	51.7	52.8	51.5	51.2	54.1	52.0	50.6	51.9	52.7	51.0	49.8	50.3	49.8

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。